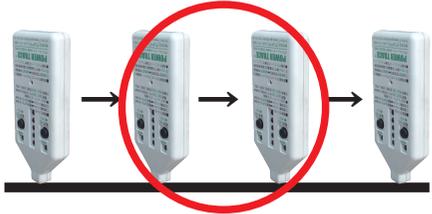


操作のポイント

受信機の探索距離を一定に保ちます

ケーブル確認は目的線に受信機を接触させます

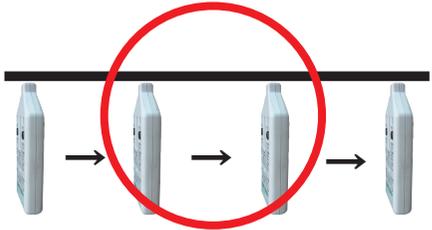
受信機とケーブル間が不均一の場合は受信感度に差異が生じ識別が困難



受信機の探索方向を固定します

ケーブルに対して常に直角方向で強い受信が得られます

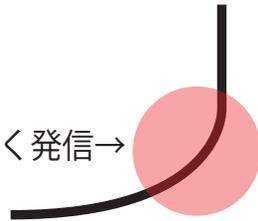
直角・斜め・平行を取り交ぜると受信感度に差異が生じる為不可



ケーブルが湾曲している場合の対応

ケーブルのカーブ点では信号が干渉している為直線部分と比較し、発信が強くなる傾向になります。したがってこの部分に受信機が接触した場合は他の部分で信号が捕捉しにくくなります。この際、探索を再開する為にリセットボタンを押して感度を最大に戻す必要があります。

強く発信→



受信機を素手で持ち受信感度を高めます

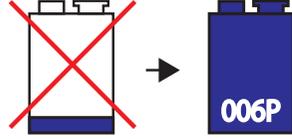


感度 (良)



感度 (低)

故障かなと思われる前に

よくあるご質問	対応方法
①電源が入らない ②探索が不安定になる ③信号が届かない ④音が変わる (連続音)	電池交換又は充電をして下さい   GP200&QC900
⑤受信不明瞭 ⑥目的線以外も反応する ⑦ノイズの影響を強く受ける	信号が2線間で相殺する為、単独のアース (別回路) を取って下さい (例: 盤内アース・鉄筋・ダクト・水道管等) 
⑧音とLEDが消える	マイクロプロセッサが最大レベルの信号を受信すると自動的にそれ以下の信号をゼロと見なすため、受信機の強又は弱ボタンを押してこまめに感度をリセットします (最大感度で探索を再開します) リセットボタンを押す 小 信号レベル 大 
⑨漏電ブレーカーが心配	漏電ブレーカーの許容値は状況によって異なる為、送信機から対地間に3~5mAの電流が流れる事がご心配の場合はニュートラ線又はグランド線をご利用頂けます。但しこの場合は盤内アース以外の単独アースをご利用下さい (例: 鉄筋・鉄柵等)
⑩クランプ送信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●探索するケーブルの反対側が極端に短い場合 (0~2m) (短い側をアース接続します) ●クランプの口が完全に閉じているかご確認下さい ●電池を交換して下さい (クランプは消費電力が大) 

ご質問はお気軽にお問い合わせ下さい 0120-26-5527 GOODMAN